

広島文学資料室サテライト展示

「生誕 100 年 峠三吉 ③『原子雲の下より』」展示資料リスト

『詩集 原子雲の下より』（青木文庫）原爆の詩編纂委員会／編 青木書店 昭和 27 年
『詩集 原子雲の下より』（再版）（青木文庫）峠三吉・山代巴／編 青木書店 昭和 45 年
『原子雲の下より 一新編 8・6 少年少女詩集一』被爆実態調査会／編 亜紀書房 平成元年
「おねがい」1952 年 6 月 1 日付（複製） 原爆の詩編纂委員会・青木書店（作品募集のお願い）
「原爆の詩（参考資料）」（2 種） 原爆の詩編纂委員会
メモ「原爆に関する詩集の編纂について」峠三吉／筆
「経過の報告」1952 年 6 月 6 日付 原爆の詩編纂委員会
メモ（応募作品の集計表）
封筒（各学校等から、応募作品が送付された際の封筒）
「御礼のことば」1952 年 7 月 16 日付（複製）原爆の詩編纂委員会（作品応募に対するお礼）
メモ（「序文」の構成について）峠三吉／筆
草稿「序文」峠三吉／著
「おしらせ」1952 年 10 月 2 日付（『原子雲の下より』出版記念会案内状） 原爆の詩編纂委員会
草稿「傷痕」（複製）峠三吉／著
はがき 青木書店より峠三吉あて 昭和 27 年 8 月 19 日付 (『原子雲の下より』が校了し、印刷中である)
写真（『原子雲の下より』出版記念会 昭和 27 年 10 月 5 日 教育会館会議室）
原稿「子供の詩は教える 一原爆の詩を選衡して一」峠三吉／著 (「われらの詩」16 号（昭和 27 年 9 月）掲載)
「われらの詩」16 号 われらの詩の会 昭和 27 年 9 月
『行李の中から出てきた原爆の詩』広島文学資料保全の会／編 暮しの手帖社 平成 2 年 8 月
「暮しの手帖」第 15 号 昭和 63 年 8・9 月号 暮しの手帖社
原稿「げんしばくだん」向井富子／著（広島市立古田小学校 3 年）（『詩集 原子雲の下より』掲載）
原稿「傷深き姉は死んで行った」西田郁人／著（崇徳高等学校 2 年） (『行李の中から出てきた原爆の詩』掲載)